

【週刊タバコの正体】

Vol.31 第11話～第13話

2015/07 和歌山工業高校 奥田恭久

■Vol. 31

(No. 432) 第11話 残留受動喫煙とタバコの粒子

—タバコの粒子はものすごく小さい..

タバコの煙は予想以上に広がり1本吸っただけでも2.5mプールいっぱい分ぐらいになる事を、前回紹介しましたね。白い煙は火のついたタバコの周辺だけにしか見えませんが、その粒子は非常に細かいので目に見えなくなって空気中をどんどん漂っていくわけです。ちなみに、よく考えると目に見えるニオイなんてありません。ニオイの粒子は小さくて目に見えないのが普通です。では、タバコの煙の粒子はどのぐらいの大きさなのでしょう？

タバコの粒子の直径は、0.01～0.001μmだそうです。と言われても実感がわかないでしょう。そこで、ちょっと次の光景を思い起こしてください。

例えば、降っているのがわからないぐらいの細かい雨（霧雨）の粒子は100～50μm。遠くの景色がかすむような霧の粒子は1.0～0.01μmだそうです。

(No. 433) 第12話 タバコの粒子とPM2.5

—PM2.5による大気汚染よりはるかに危険..

タバコの粒子の直径は0.01～0.001μmという大変小さいことを紹介しましたね。私たちの身の回りには、他にも小さい粒子の物質が大気中を漂っています。じつは、そんな大気中に漂う小さな粒子に名前がついていることを知っているでしょうか。その名は“PM2.5”と言います。大気中に浮遊している直径2.5μm以下の粒子の事を“PM2.5”と呼んでいるので、直径0.01μmのタバコの粒子もPM2.5に含まれているわけです。これほど小さい粒子は、人体の奥まで入り込みやすく肺や気管支にまで到達し沈着してしまいます。PM2.5の多くは工場や自動車が排出するガスなどから発生するとされていますが、大気中のPM2.5の濃度が高くなると危険なのです。

(No. 434) 第13話 喫煙率とやめたい人

—喫煙率は低下、禁煙したい人は増加..

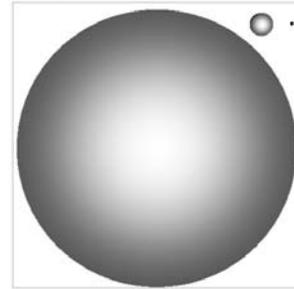
日本の喫煙者は年々減少しています。日本たばこ産業が実施した全国たばこ喫煙者率調査によると下のグラフにあるように毎年減少を続け、昨年（2014年度）は男性が30.3%、女性は9.8%、男女計は19.7%となっています。つまり、現在の喫煙者は成人の10人に2人しかいないわけです。逆に言えば10人のうち8人はタバコを吸わないのですから、喫煙者は少数派です。

そんな状況を反映するように、街なかでは“禁煙”のところが多く、喫煙者がタバコを吸える場所は少なくなるばかりです。

だから、仕事中に職場を離れ喫煙所にタバコを吸いに行かなければならないとか・・・、タバコ代がバカにならないとか・・・、家族に嫌がられるとか・・・、いろいろ不都合な事が多く、「タバコをやめたい」と感じている人は少なくないようです。

Serial number 432 第11話 週刊 タバコの正体

タバコの煙は予想以上に広がり1本吸っただけでも2.5mプールいっぱい分ぐらいになる事を、前回紹介しましたね。白い煙は火のついたタバコの周辺だけにしか見えませんが、その粒子は非常に細かいので目に見えなくなって空気中をどんどん漂っていくわけです。ちなみに、よく考えると目に見えるニオイなんてありません。ニオイの粒子は小さくて目に見えないのが普通です。では、タバコの煙の粒子はどのぐらいの大きさなのでしょう？



タバコの煙の直径は、0.01～0.001μm. だそうです。とまわっても実感がわかないでしょう。そこで、ちょっと次の光景を思い起こしてください。
例えば、降っているのがわからないぐらいの細かい雨（霧雨）の粒子は100～50μm. 遠くの景色がかすむような霧の粒子は1.0～0.01μm. だそうです。
それらの大小関係は、イメージ図のように大きい順に、霧雨の粒子、雨の粒子、そしてタバコの粒子というようになります。タバコの煙は、とんでもなく小さいことが分かります。

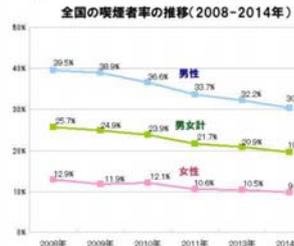


喫煙者率調査(2014年度)の喫煙者率(%)

いかがでしょうか、タバコは吸い終わってからも、まわりには無数の粒子をばらまいていることを知っておいて下さい。
Zero Tobacco Project
In WAKO since 2005
産業デザイン科 奥田 恭久

Serial number 434 第13話 週刊 タバコの正体

日本の喫煙者は年々減少しています。日本たばこ産業が実施した全国たばこ喫煙者率調査によると下のグラフにあるように毎年減少を続け、昨年（2014年度）は男性が30.3%、女性は9.8%、男女計は19.7%となっています。つまり、現在の喫煙者は成人の10人に2人しかいないわけです。逆に言えば10人のうち8人はタバコを吸わないのですから、喫煙者は少数派です。



たばこをやめたい人の割合の推移(平成19～23年)



そんな状況を反映するように、街なかでは“禁煙”のところが多く、喫煙者がタバコを吸える場所は少なくなるばかりです。
だから、仕事中に職場を離れ喫煙所にタバコを吸いに行かなければならないとか・・・、タバコ代がバカにならないとか・・・、家族に嫌がられるとか・・・、いろいろ不都合な事が多く、「タバコをやめたい」と感じている人は少なくないようです。

このまま喫煙者は減少し、タバコを吸っている人もやめたいと考えている人が増えていくとすれば、いつか世の中からタバコが消える日が来るかもしれません。
産業デザイン科 奥田 恭久

毎週火曜日発行



URL: http://www.jascs.jp/truth_of_tabacco/truth_of_tabacco_2011.html

※週刊タバコの正体は日本禁煙学会のHPでご覧下さい。
※一話ごとにpdfファイルで閲覧・ダウンロードが可能です。

